

**専攻実習Ⅱ**

講師名	三好 智子	実務経験等	高校教諭としての実務経験を活かし、花きの生育状況を把握する能力と生育に応じた管理技術、販売のための技術を習得するための実習を行う。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専攻科目	農産園芸・花き	必修	2	通年	450	10
使用教科書・副教材	令和2年度岩手県花き栽培技術指針 岩手県					
授業の目的	岩手県の主要花き品目の基礎的栽培技術を習得する。また、卒業研究計画に基づいて実習に取り組み、栽培品目における高度な技術と知識を身に付ける。					
授業の到達目標	岩手県の主要花き品目(リンドウ、小ギク、トルコギキョウ、ユリ、シクラメン、鉢物リンドウ等)の基礎的栽培技術や環境制御技術(温度、湿度、光、かん水等)を習得する。					

月	学 習 項 目	学 習 事 項	時間	授業 形式	備 考 (提出物等)
4月	・主要鉢物品目の基礎的栽培技術の習得 ・主要切り花品目の基礎的栽培技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗技術 鉢物リンドウ、シクラメン、小ギク、トルコギキョウ、シンテツポウユリ、花壇苗、ダリア</li> <li>・鉢上げ技術、定植技術 鉢物リンドウ、トルコギキョウ、シンテツポウユリ、花壇苗</li> <li>・肥培管理技術 鉢物リンドウ、シクラメン、トルコギキョウ、シンテツポウユリ</li> <li>・その他栽培管理技術 病害虫防除、かん水技術、切り花リンドウの残茎除去、フラワーネットや支柱の設置など</li> </ul>	52	実習	
5月	・採花適期の判断と採花技術及び出荷調整 方法の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗技術 シクラメン、小ギク</li> <li>・鉢上げ技術、定植技術 鉢物リンドウ、小ギク、</li> <li>・肥培管理技術 鉢物リンドウ、シクラメン、トルコギキョウ、シンテツポウユリ</li> <li>・その他栽培管理技術 病害虫防除、かん水技術、切り花リンドウの株仕立て、フラワーネットの引き上げなど</li> <li>・MPSの概要 社会的背景・意義、国際的な状況など</li> </ul>	78	実習	
6月	・調査結果の整理、分析手法の習得 ・花き産業総合認証(MPS)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉢替え技術、定植技術 シクラメン、切り花リンドウ</li> <li>・肥培管理技術 鉢物リンドウ、切り花リンドウ、シクラメン、トルコギキョウ、シンテツポウユリ</li> <li>・その他栽培管理技術 病害虫防除、かん水技術、トルコギキョウ整枝技術、鉢物リンドウ摘心技術など</li> </ul>	76	実習	
7月	・花きにおけるICT利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗技術 花壇苗、ストック</li> <li>・肥培管理技術 鉢物リンドウ、シクラメン、ポインセチア、トルコギキョウ、シンテツポウユリ</li> <li>・採花技術、出荷調整技術、調査方法習得 鉢物リンドウ、シクラメン、切り花リンドウ、トルコギキョウ</li> <li>・その他栽培管理技術 病害虫防除、かん水技術、切り花品質保持技術など</li> <li>・卒業研究中間検討会 中間の調査結果をまとめ、検討会資料を作成し、今後の進め方について検討する。</li> </ul>	24	実習	中間検討会資料
8月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉢上げ技術、定植技術 花壇苗、ストック</li> <li>・肥培管理技術 鉢物リンドウ、シクラメン、花壇苗、ストック</li> <li>・採花技術、出荷調整技術、調査方法習得 鉢物リンドウ、シクラメン、切り花リンドウ、トルコギキョウ、小ギク、シンテツポウユリ</li> <li>・その他栽培管理技術 病害虫防除、かん水技術、切り花品質保持技術、施設内環境制御技術など</li> </ul>	30	実習	
9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥培管理技術 鉢物リンドウ、シクラメン、花壇苗、ストック</li> <li>・採花技術、出荷調整技術、調査方法習得 鉢物リンドウ、切り花リンドウ、シクラメン</li> <li>・その他栽培管理技術 病害虫防除、かん水技術、切り花品質保持技術など</li> </ul>	44	実習	
10月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・肥培管理技術 シクラメン、花壇苗、ストック</li> <li>・出荷調整技術、調査方法習得 シクラメン</li> <li>・親株管理技術 鉢物リンドウ、小ギク</li> <li>・調査結果の整理、分析手法の習得</li> <li>・その他栽培管理技術 病害虫防除、かん水技術、施設内環境制御技術など</li> <li>・花きにおけるICT利用の実際 栽培環境の制御技術など</li> <li>・MPS-ABCの実際 農業、肥料エネルギー、廃棄物と環境改善</li> </ul>	84	実習	事例研究レポート
11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・親株管理技術 鉢物リンドウ、切り花リンドウ、小ギク</li> <li>・調査結果の整理、分析手法の習得</li> <li>・その他栽培管理技術 病害虫防除など</li> <li>・花きにおけるICT利用の実際 複合環境制御システムなど</li> <li>・MPSの実際 流通、販売場面の取り組み状況など</li> </ul>	58	実習	事例研究レポート
2月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農具等の片付け、手入れ</li> <li>・実習のまとめ</li> </ul>	4	実習	
合計			450	時間	

成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

評価割合は、習熟度60%(技術・技能の熟達度、作成計画・発表・伝達の能力、レポート)、平常点40%(出席状況、参加の状況)として行う。

履修に当たっての留意点等

ほ場での実習が主体となるため、作業着・長靴など、作業に適した服装で臨むこと。  
花きの生育状況や天候などによって、講義日程を変更する場合があります。注意すること。